

ベネズエラ・ボリバル共和国

主要データ

国名〔英名〕	ベネズエラ・ボリバル共和国[Bolivarian Republic of Venezuela]
面積(km ²)	912, 050
海岸線延長(km)	2, 800
人口(百万人)	28. 0
人口密度(人/km ²)	30. 7
GDP(百万 US\$)	337, 433
一人当り GDP(US\$)	11, 114
主要鉱産物：鉱石	ニッケル、金、鉄鉱石
主要鉱産物：地金	フェロニッケル、粗鋼
鉱業管轄官庁	石油鉱業省
鉱業関連政府機関	国立地質鉱山研究所(INGEOMIN)
鉱業法	鉱業法(Decreto con rango y fuerza de ley de Minas)1999 年
ロイヤルティ	－
外資法	－
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	環境組織法(Ley Organica del Ambiente)2006 年
鉱業公社	ガイアナ開発公社(CVG : Corporacion Venezolana de Guayana)、Minervén 公社(CVG の子会社)
鉱業活動中の民間企業	Anglo American
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	・ 21 世紀型社会主義を進める Chavez 大統領による基幹産業国有化の推進に伴い、資源の国家管理の動きが一層強化 ・ 2011 年 8 月に、Chavez 大統領が国内の金産業を国有化する法令に署名、翌 9 月に公布
2011 年のトピックス	・ 2010 年 9 月に、Gold Reserve 社が、Brisas 金プロジェクトと Choco5 金鉱山が実質的に接収されたことを不服としてベネズエラ政府を国際投資紛争解決センター(ICSID)に提訴 ・ 2011 年 2 月に、Crystallex 社が、CVG が Las Cristinas 金プロジェクトの開発契約を一方的に解消したことにに関してベネズエラ政府を ICSID に提訴 ・ 2011 年 9 月に金産業の国有化法が公布されるも、同法が内包する様々な問題点が浮上、現在も内容について調整中 ・ 2012 年 10 月の選挙で、反米左翼の Chavez 大統領が 4 選された

1. 鉱業一般概況

ベネズエラは世界有数の石油産出国であり、経済は石油による収入に大きく依存している。これに続く輸出産業としては鉄鉱石とアルミがある。一方、同国の非鉄金属産業はニッケルと金にほぼ限定されている。

ニッケルは、首都カラカスの南西 80km に位置し、Anglo American が操業する Loma de Niquel 鉱山で生産され、フェロニッケルとして輸出されている。

金は、ベネズエラ東部の Bolívar 地域において、これまでロシア資本の Rusoro Mining 社(本社：カ

ナダ)によって Choco Concessions 鉱山及び Mina Isidora 鉱山が操業されてきた。また、CVG 傘下の Minervén 金開発公社が Bolívar 地域で Colombia 鉱山、Union 鉱山などを操業しているが、設備の老朽化や非効率的な操業により生産量は減少している。

2011 年 9 月に公布された金産業を国有化する法律により、Rusoro Mining 社はボリビア政府との合併企業 (Venrus 社) への資産移管と補償に関する協議を行ってきたが協議は不調に終わり、2012 年 4 月、同社が操業してきた Choco Concessions 鉱山、Mina Isidora 鉱山等は操業を完全に停止した。2012 年 5 月、ベネズエラ政府は Rusoro 社の資産・操業を Minervén 公社に引き継がせ、Venrus 社を完全な政府の管理下に置いた。Rusoro 社は、これまでにベネズエラで行ってきた投資と同社に対する投資家の利益を守るため、2012 年 7 月、ベネズエラ政府を ICSID に提訴した。

ベネズエラの 2011 年の鉱山生産量は、ニッケルが前年比 14.5%増の 1 万 3,400t、金が前年比で横ばいの 7.0t であった。

2. 鉱業政策の主な動き

ベネズエラ政府は、金や鉄などの鉱業分野の国有化政策を継続しており、政府の方針と一致し、また、政府との関係が良好な企業のみが開発に参画できる状況であり、現在、ベネズエラにおいては鉱業コンセッションの付与システムは停止状態にある。

また、2011 年 8 月に、Chavez 大統領は、金の価格高騰を受け、国内の金産業を掌握し不法採掘を停止させ、金の産出量を増加させることを目的に金産業を国有化する法律に署名、翌 9 月 16 日に公布された。

同法では、ベネズエラで金を生産しようとする全ての者は、政府との合併企業 (政府権益は 55%以上) を設立しなければならないこと、生産される全ての金は国際金価格 (ただし、公式レートである 1US\$ = 4.3Bolívares) で中央銀行に販売しなければならないとなった。併せて、金産業の国有化の一環として、金の輸出も禁止すると発表された。同法の制定に際し、ベネズエラの産金地帯である Bolívar 県に居住する先住民から事前協議なく制定されたとして、同法は違憲であるとの反対運動が激しくなり、また、Bolívar 県で金の採掘を行う小規模事業者からも同法に反対する声が上がリ、同法の内容の不備に対する検討が続けられている。

2011 年 11 月、Chavez 大統領は、これまでベネズエラの鉱業セクターを所管していた基礎産業鉱業省を解体し、エネルギー石油省と合わせて省庁再編を行い、新たに産業省と石油鉱業省が発足した。これにより、鉱業セクターは石油鉱業省が所管することとなった。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

主要金属鉱産物の中で生産統計値があるのはニッケル、金及び鉄鉱石である。

表 1-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2009 年	2010 年	2011 年	対前年増減比 (%)
ニッケル (千 t)	10.4	11.7	13.4	14.5
金 (t)	12.2	7.0	7.0	0.0
鉄鉱石 (千 t)	14,900	-	-	-

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2012, Steel Statistical Yearbook 2011)

(2) 主要金属地金生産量

表 1-2. 金属地金生産量

鉱種	2009 年	2010 年	2011 年	対前年増減比(%)
フェロニッケル(Ni 純分千 t)	10.4	11.7	13.4	14.5
粗鋼(千 t)	3,808	2,207	3,070	39.1

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2012、World Steel Association crude steel production 2011, 2010, 2009)

(3) 主要金属消費量

表 1-3. 金属消費量

鉱種	2009 年	2010 年	2011 年	対前年増減比(%)
銅(千 t)	1.0	1.0	1.0	0.0
亜鉛(千 t)	15.0	11.0	10.0	-9.1
鉛(千 t)	40.0	35.0	30.0	-14.3
錫(千 t)	0.6	0.3	0.4	33.3

(出典: ICSG Copper Bulletin September 2012、ILZSG Lead and Zinc Statistics October 2012、World Metal Statistics Yearbook 2012)

(4) 主要金属輸出入

表 1-4. 金属地金等輸出入

鉱種	2009 年	2010 年	2011 年	対前年増減比(%)	主な輸出入相手国
フェロニッケル(千 t)	21,418	20,067	2,216	-89.0	イタリア
鉄鉱石(千 t)	3,465	-	-	-	-

(出典: World Nickel Statistics October 2012、Steel Statistical Yearbook 2011)

(5) 主要金属輸入量

表 1-5. 金属地金輸入量

鉱種	2009 年	2010 年	2011 年	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
銅(千 t)	7.1	4.5	0.8	-82.2	

(出典: ICSG Copper Bulletin September 2012)

4. 鉱山・製錬所状況

表 2. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(%)	鉱種	2011 年 生産量	備考
Loma de Niquel	Anglo American(91.4) Corporacion Caracas(7.6)	ニッケル (千 t)	13.4	2011 年は、14.5%生産量を伸ばした。
Choco Concessions	Cia General de Minería de Venezuela (Ferrominera Orinoco(66.77), CVG(33.23))	金(t)	1.7	2007.12 に、Rusoro Mining 社が Gold Fields 社から買収 2011 年 9 月に国有化。39%減産(2.8 →1.7t)
Mina Isidora	Cia General de Minería de Venezuela (Ferrominera Orinoco(66.77), CVG(33.23))	金(t)	0.3	2008.6 に、Rusoro Mining 社が Helca Mining 社から買収 2011 年 9 月に国有化。57%減産(0.7 →0.3t)



図 1. 鉱山位置図

5. 探鉱状況

(1)Brisas 金プロジェクト(鉱量：6 億 400 万 t、品位：金 0.644g/t、銅 0.128%)

Gold Reserves 社(米)によって進められてきた Bolivar 地域に位置する金の探鉱プロジェクトであるが、2009 年 5 月に政府はコンセッションの延長申請を却下し、10 月に政府関係者によって接收された。同社はこの政府の措置を不服として、同月、ICSID(国際投資紛争解決センター)に仲裁を申し立てた。また同社は、Brisas 金プロジェクトと Choco5 金鉱山が実質的に接收されたことを不服として、2010 年 9 月に ICSID にベネズエラ政府を提訴し、18 億 6,700 万 US\$の損害賠償を求めており、2012 年 10 月現在未決着である。

(2)Las Cristinas 金プロジェクト(鉱量：8 億 5,900 万 t、品位：金 0.979g/t)

Crystallex 社(加)によって進められてきた金の探鉱プロジェクトで、鉱区は Brisas 金プロジェクトに隣接している。本プロジェクトに関しては、同社が環境許可取得のための申請を行っていたが、政府からの承認が得られない状態となっていた。そのような中、2011 年 2 月に、プロジェクト開発契約を締結していた CVG から一方的に契約を解消する旨を通達する文書が送付された。同社は同月、一方的な契約解消に関して ICSID にベネズエラ政府を提訴した。同社は、ベネズエラ政府の問題解決能力の低さや、カナダとベネズエラ政府との間で取り決められている投資促進保護協定違反を訴えており、2012 年 10 月現在、未決着である。2011 年 3 月に同社はプロジェクトの撤退を決定し、翌 4 月には同社はベネズエラ政府へのプロジェクトの譲渡を完了した。

一方、2011 年 7 月、当時の基礎産業鉱業省は、同プロジェクトにロシア、中国、ベラルーシ等の企業が関心を表明しており、様々な企業からの提案を検討していると伝えた。その後 2012 年 3 月、ベネズエラ政府は中国の CITIC Group と Las Cristinas 鉱床の共同開発を計画していると伝えられ、2012 年 4 月末には CITIC Group により、同鉱床の鉱量把握のための調査が計画されていると報じられた。

そして 2012 年 9 月、Chavez 大統領は、同プロジェクトの開発について、政府は CITIC Group と合意に達したと発表した。

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 3. 日本への精鉱・地金輸出力

鉱種	2009 年	2010 年	2011 年	対前年増減比 (%)
アルミニウム地金 (t)	6,026	4,289	686	-84.0

(出典：財務省貿易統計)

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

2011 年 10 月 7 日、大統領選挙が行われ、これまで 3 期にわたり大統領を務めてきた、低所得者層や地方在住者の支持が厚い Chavez 大統領が 4 選を果たした。これにより、2019 年 1 月まで更に 6 年間大統領を務めることになる。

(2012.11.8 リマ事務所 嶋中真洋)